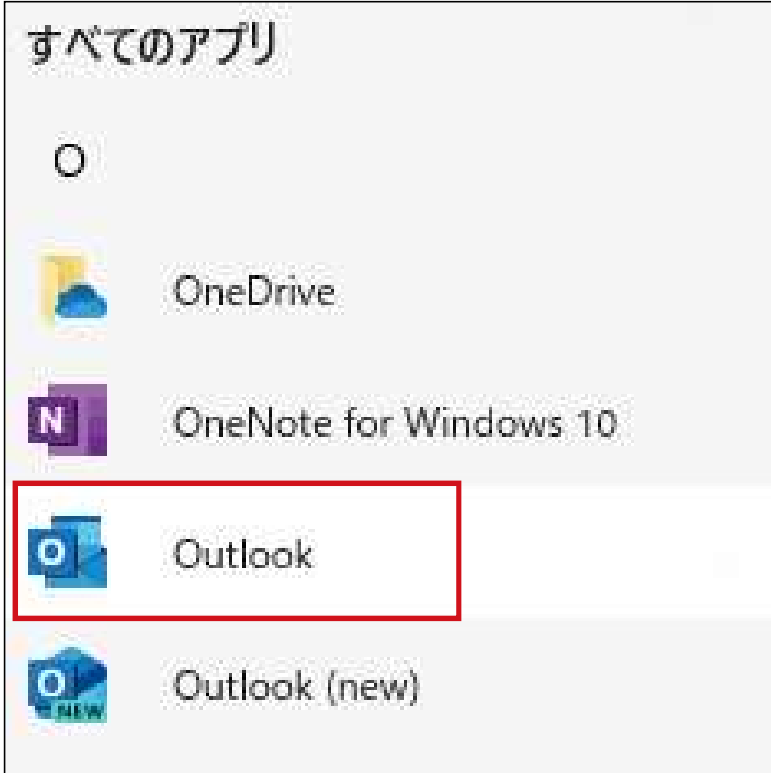


1. Outlookの起動

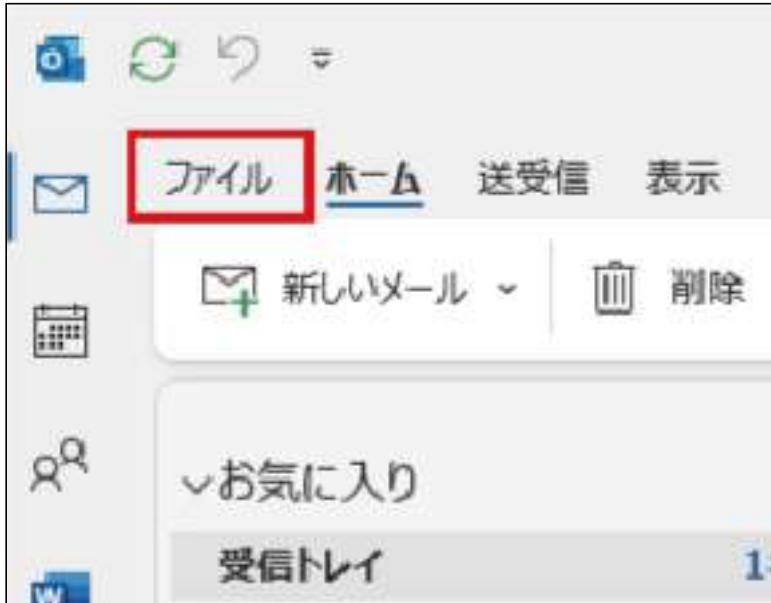
Windows メニューから Outlook のアイコンをクリック。
Outlook を立ち上げます。



1-1. 初めて Outlook を利用する場合

1. メールアドレスを入力し「詳細オプション」をクリックします。
2. 「自分で自分のアカウントを手動で設定」にチェックを入れ「接続」をクリックします。

→2. アカウントの種類をクリックに進んでください。



1-2. すでに Outlook を利用中の場合

1. Outlook を立ち上げます。
2. 赤の枠線内「ファイル」をクリックしてください。



赤の枠線内「アカウントの追加」をクリックします。



1. メールアドレスを入力し「詳細オプション」をクリックします。
2. 「自分で自分のアカウントを手動で設定」にチェックを入れ「接続」をクリックします。

2. アカウントの種類をクリック

IMAPとPOPはメールの受信に使われる通信プロトコルです。OutlookやThunderbirdをはじめとする、メールソフトにおける受信に用いられています。メールアカウント設定の際に、IMAPもしくはPOPのどちらかを選択していただく必要があります。スマートフォンの普及で複数デバイスからアクセスすることが当たり前になった現在は、IMAPが主流です。



2-1.IMAP の場合

「IMAP」をクリックします。

IMAPとは、メールがサーバー上へ送られ、一時的なキャッシュ(保存データ)をパソコン上で管理する仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 会社や自宅のパソコン、スマートフォンなど複数のデバイスから同じメールアカウントへ同時にアクセスできる。
- パソコンが壊れても他のパソコンやスマートフォンなどのデバイスから確認できる

デメリットは以下の通りです。

- インターネットに接続していないとメールが閲覧できない
- メールは削除しない限りサーバーから消えないため、メールサーバーの容量が圧迫される



2-2.POP の場合

「POP」をクリックします。

POPとは、パソコン自身へメールをダウンロードする仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 自身のパソコンへ保存されるため、一度受信したメールはインターネットにつながってなくても閲覧できる
- サーバーには保存されないため、サーバー容量を気にしなくて済む ※オプションでメールをサーバー上へ残しておくこともできる

デメリットは以下の通りです。

- 一台の端末でしかメールの受信ができない
- メールソフトを使用している端末が故障してしまうとメールが見られなくなる

3. アカウントの設定

3-1.IMAP の場合

赤枠内の「受信メール」「送信メール」に必要事項を入力します。

※受信メール/送信メールに入力する項目は下表を参照

受信メール	
サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	993
暗号化方法	SSL/TLS
セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックあり

送信メール	
サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	465
暗号化方法	SSL/TLS
セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要	<input type="checkbox"/> チェックなし

POP アカウントの設定
 例) sv***xserver.jp

受信メール

ユーザー名:

パスワード:

パスワードを保存する

サーバー: ポート:

このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

送信メール

サーバー: ポート:

暗号化方法:

サーバーのタイムアウト:

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

3-2.POP の場合

赤枠内の「受信メール」「送信メール」に必要な事項を入力します。

※受信メール/送信メールに入力する項目は下表を参照

受信メール	
サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	995
このサーバーは暗号化された接続 (SSL/TLS が必要)	<input checked="" type="checkbox"/> チェックあり
セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要	<input type="checkbox"/> チェックなし

送信メール	
サーバー	設定完了メールに記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***xserver.jp
ポート	465
暗号化方法	SSL/TLS
セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要	<input type="checkbox"/> チェックなし



4. パスワードの入力

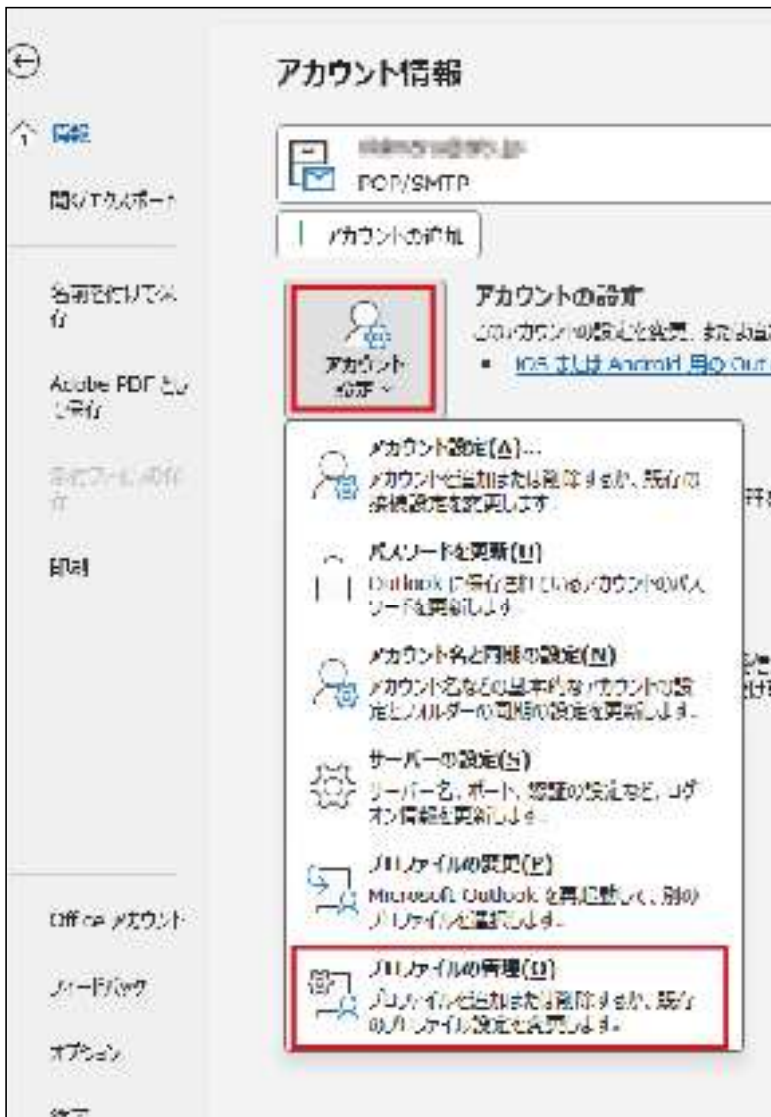
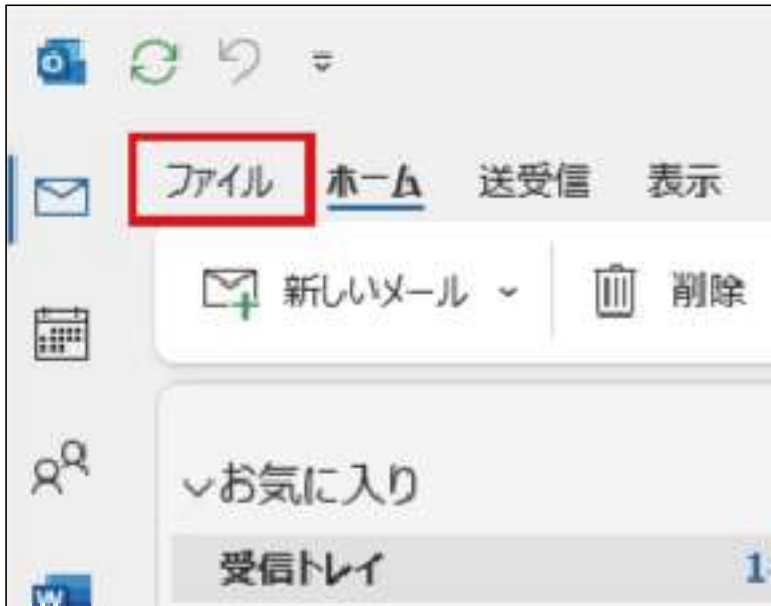
赤枠内にパスワードを入力後「接続」をクリックします。



5. 追加完了

「アカウントが正常に追加されました」と表示されたら「完了」をクリックします。

この後 SMTP 認証設定に進みます。



6. SMTP認証設定方法

6-1.「ファイル」をクリック

メイン画面の「ファイル」をクリックします。

6-2.「アカウント設定」をクリック

1. 「アカウント設定」をクリックします。
2. 「プロファイルの管理」をクリックします。



6-3.「変更」をクリック

メールアドレスを選択後「変更」をクリックします。

6-4.「詳細設定」をクリック

「詳細設定」をクリックします。

6-5.「送信サーバー」タブをクリック

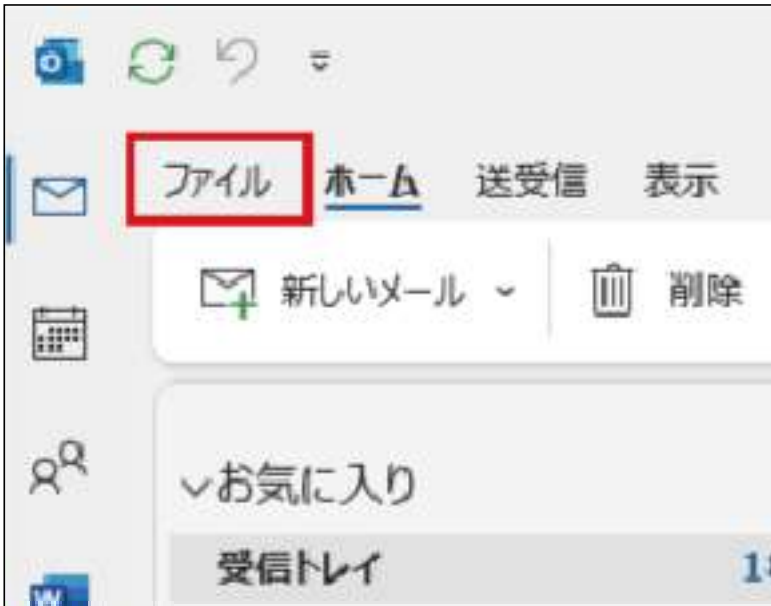
「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」
「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」
の2カ所にチェックが入っていることを確認し「OK」をクリックします。

7. IMAPを選択した場合必要な設定

IMAPを選択した場合は、以下の設定が必要です。
手順に沿って設定を完了させてください。

7-1.「ファイル」をクリック

メイン画面の「ファイル」をクリックします。



7-2.「アカウント名と同期の設定」をクリック

1. 「アカウント設定」をクリックします。
2. 「アカウント名と同期の設定」をクリックします。

